

須賀川市立義務教育学校「**稲田学園**」学園だより

とう oun  
**稲雲**

第 18 号



令和5年 2月10日発行

発行者：校長 小貴 崇明

## ○カラフルなだんごに願いをこめて

1月18日（水）のお昼休みに、メディアセンターでは図書委員が中心となって「だんごさし」を飾りました。だんごさしは小正月（旧1月15日頃）に行われる行事で、米の粉で団子を作り、これを「みずき」という木に花を咲かせたように飾ります。だんごさしの起源は定かではありませんが、五穀豊穡（私たちにとっては稲田地区の農作物が豊かにみること）を祈るもので、仁徳天皇の頃から始まり全国に広まっていると言われています。



当日は、前期課程の児童も後期課程の生徒も一緒になって、色鮮やかなだんごや大判小判を木の枝に挿したり吊したりしました。すべての学年が関わって笑顔あふれる行事となりました。

## ○中学生による模擬議会

1月30日（月）、須賀川市内の中学生による模擬議会が開催され、稲田学園からも男女2名の代表が参加しました。稲田学園からは、須賀川市の情報発信に関してSNSの活用等の現状や今後の方針などについて質問をしました。本物の議会と同じように関係する部長様、そして橋本市長様より答弁していただきました。今回児童生徒会役員として参加した2名にとっては本当に貴重な経験だったと思います。また、このような機会を通して将来議員や市長などを目指す人も出てくるのではと期待されます。



## ○生活科の学習で1年生が凧揚げに挑戦

1年生の生活科の学習では、屋外での遊びを体験しようと凧揚げに挑戦しました。柔らかなビニールと棒でできた凧に自分で絵を描いて、シippoと糸をつけて凧が完成すると、1年生が元気よく校庭を走り回りました。天気にも恵まれ、凧揚げにはちょうど良い風があったので、



うまく揚げている子どもが多い中、苦労している子どももいました。昔、凧揚げをして遊んだ経験を持つ先生方から1年生に「いいぞ、すごいすごい、もっと走って～！」などと声援が飛んでいました。

## ○来年度に向けて鼓笛練習が始まっています

3学期となり鼓笛練習が本格化しています。5年生が経験者の6年生に教えてもらいながらの練習です。4月から6年生となる5年生たちは、真剣に取り組んでいます。普段は仲のいい5・6年生ですが、うまくいかな場面もあり緊張感が伝わってくる雰囲気の中で、充実した練習が続いています。来年度の運動会での発表が楽しみです。



## ○豆まき集会で鬼を追い払いました



2月3日(金)には、前期課程の1年生から6年生までの児童が集まって豆まき集会を行いました。校長からは、「自分にとっての鬼は何だろうと真剣に考えて、鬼を追い払ってください。」とお話ししました。その後、保健委員会から節分の由来の話と学年

代表1名から自分が追い出したい鬼の発表がありました。

集会後には、6年生が各クラスや職員室などを回って豆まきをしました。また、今年も会津美里町在住で稲田出身の結城様より落花生をいただき、子どもたちに配付しました。

## ○和楽器体験教室はまるでオーケストラのように

前号でも紹介したとおり、本校では5～8年生で和楽器の体験教室を実施していますが、高学年になるとこれまでの経験をもとに演奏技術が向上し、8年生の和楽器鑑賞・体験学習では、それぞれの和楽器による「合奏」にチャ



レンジしました。パート練習と少しの打ち合わせの後、やってみたらバッチリ音とリズムがあって、まるで雅な(みやびな)和楽器オーケストラのような演奏となりました。稲雲ホールはお正月のような雰囲気、聴いていた先生方も拍手喝采でした。

### ★言葉と生きる(18)「良いことの起こるを願ひ 日記買ふ」

低学年の子どもたちには難しいかもしれませんが、俳句の世界では「日記買ふ」は冬の季語なのだそうです。先日、私は4月から使うためのダイアリー(少しメモが書けるようなカレンダー付きの手帳)を買いました。新しい年(私にとっては4月)からは自分にとって何か良いことが起きるようにと願いを込めて日記を買って、今も昔も同じようなことを考えるんだなとこの俳句を知って微笑んでしまいました。スケジュール管理はスマホやパソコンでしている方が多いかもしれませんが、ちょっとした感動や反省を書き込む日記もあっていいのかなと思いました。